

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		523-01-02			
事務事業名		収穫祭開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線2742			
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策		2		商工業・サービス業		項	1	商工費
	施策の方向		3		地域産業の活性化		目	2	商工振興費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市来訪者及び駒ヶ谷地域						
	目的 (どうしたいか)		羽曳野市の特産品であるぶどうなどの地場産品を通じて、地域産業の振興、PR及び地域の活性化を図るとともに、駒ヶ谷地区の豊かな自然環境を多くの人に発信し交流を育む。						
	手段 (事業内容)		収穫祭実行委員会へ助成金の交付を行うとともに、実行委員会の事務局として、実行委員会の開催、事業実施内容の調整(軽トラ市などとの共同開催)などを行う。						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 会場設営委託費 0千円 警備員委託費 0千円 イベント謝礼等 0千円 広報費 0千円 運営費 0千円 駐車場借上料 0千円 【特定財源】 なし	
当初予算額	事業費	900	900	900		
決算額	事業費	900	0	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	地域出店者数	単位	者	
指標の説明	ブース出店者のうち、駒ヶ谷地域の出店者数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		8	10	0
実績		7	0	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	イベント参加者数	単位	人	
指標の説明	地域のPRを行えた人数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		2,000	2,500	0
実績		1,000	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
当事業は、市の特産品であるぶどうを主とした、駒ヶ谷・飛鳥地域の魅力を存分に楽しめるイベントを開催することにより、地域の賑わいを創出し、地域産業の振興や地域の活性化に結びつくことを目的としている。令和2年度、3年度ともにコロナ禍の影響で開催できなかったが、町会や地区の人々も開催されることを望んでいるため、コロナ禍においても開催できるよう改善し取り組んでいく必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
コロナ禍やアフターコロナでも開催できるよう、オンライン開催等新しいイベントの形を検討していく。また、これまで農作物の最盛期と時期がずれて開催していたこともあり、特産品であるぶどうの最盛期を迎えた時期に開催し、最大限にPRできるよう地元と調整していく。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		531-01-01	
事務事業名		軽トラ市開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2760	
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策	3	観光振興・都市間交流		項	1	商工費
	施策の方向	1	地域資源の活用と観光資源の創出		目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市内外の消費者、生産者、商工業者					
	目的 (どうしたいか)	市域の枠を超えて、消費者、生産者、商工業者が一体となって参画・交流を深め、地域の賑わいを創出する。					
	手段 (事業内容)	羽曳野市内において、地域特産品(野菜・果物、飲食物、加工品、工芸品など)を軽トラックの荷台に載せて、生産者等が対面販売を行う事業を定期的開催する。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
当初予算額	事業費	2,875	2,754	2,626	【事業費】 報償費 0千円 需用費 0千円 役務費 0千円 委託料 0千円 使用料及び賃借料 0千円	
決算額	事業費	2,286	0	—		
	特定財源等	0	0	—		
					【特定財源】	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	事業実施回数	単位	回	
指標の説明	年間の軽トラ市イベントの開催数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		8	8	0
実績		9	0	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	来場者数	単位	人	
指標の説明	年間の軽トラ市イベントへの来場者数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		20,000	20,000	0
実績		19,600	0	—

《事業の参考数値等》	
令和2年度、3年度ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未実施。	
【事業費(R3年度)】	
報償費 220千円	
需用費 607千円	
委託料 1,739千円	
使用料及び賃借料 60千円	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
軽トラック等で地域特産品などを販売する軽トラ市は可動性の高さから、市内各所で実施でき、賑わいの創出につながるが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた新たな仕組みづくりを行う必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
新しい生活様式における運営手法を検討し、地元住民、生産者及び販売者、消費者の意見を聞きながら、行政と住民が一体となって実施できる仕組みを整えるよう努める。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		531-01-02	
事務事業名		七夕祭開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2760	
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策	3	観光振興・都市間交流		項	1	商工費
	施策の方向	1	地域資源の活用と観光資源の創出		目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	竹内街道及びその周辺の資産等					
	目的 (どうしたいか)	魅力を再生・創造し、広く発信することにより、地域に対する愛着や誇りを醸成し、地域の活性化を促進する。					
	手段 (事業内容)	古市駅東広場とその周辺において、地元特産品の販売や、ステージイベントを実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】	
当初予算額	事業費	1,165	1,101	1,088	報償費 0千円 需用費 0千円 役務費 0千円 委託料 0千円 使用料及び賃借料 0千円	
決算額	事業費	1,015	0	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	事業実施回数	単位	回
指標の説明	事業実施回数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1	1	0
実績	1	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	イベントへの来場者数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	3,000	3,500	0
実績	3,000	0	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
（担当部局による総合評価の理由や課題） 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた新たな仕組みづくりを行う必要がある。	今後の改善内容 （令和3年度以後の事業実施への改善内容） コロナ後の新しい生活様式を踏まえたイベントの在り方検討や来訪者を出迎える環境整備を行うとともに、「日本遺産」の活用やメディア・SNSへの露出などを通して街道の知名度をアップさせ、ブランド化の向上を図り、シビックプライドの醸成に繋げる。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード		531-01-03	
事務事業名		はびきののタベ開催事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
					連絡先		内線2760	
担当部署名		観光課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち			款	7	商工費
	施策	3	観光振興・都市間交流			項	1	商工費
	施策の方向	1	地域資源の活用と観光資源の創出			目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	竹内街道及びその周辺の資産等						
	目的 (どうしたいか)	魅力を再生・創造し、広く発信することにより、地域に対する愛着や誇りを醸成し、地域全体の活性化を促進する。						
	手段 (事業内容)	駒ヶ谷駅西側公園及びその周辺において、街道沿線自治体のPR活動、代表的な特産品(食文化)や地域加工品や商品、ご当地グルメの出店及びステージイベントを実施する。						

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】	
当初予算額	事業費	2,706	2,682	2,698	報償費 0千円 需用費 0千円 役務費 0千円 委託料 0千円 使用料及び賃借料 0千円	
決算額	事業費	2,925	0	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	事業実施回数	単位	回
指標の説明	事業実施回数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1	1	0
実績	1	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	イベントへの来場者数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	5,000	6,000	0
実績	5,500	0	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) 新型コロナウイルスの状況を踏まえた新たな取り組みや仕組みづくりを行う必要がある。	今後の改善内容 (令和3年度以後の事業実施への改善内容) 竹内街道活性化事業の一環として、コロナ後の新しい生活様式を踏まえたイベントの在り方検討や来訪者を出迎える環境整備を行うとともに、「日本遺産」の活用やメディア・SNSへの露出などを通して街道の知名度をアップさせ、ブランド化の向上を図り、シビックプライドの醸成に繋げる。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		531-02-01			
事務事業名		華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線2760			
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流		項	1	商工費
	施策の方向		1		地域資源の活用と観光資源の創出		目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		地域住民及び国内外の観光客						
	目的 (どうしたいか)		大阪府及び南河内地域への来訪者を増やし、滞在を促す。						
	手段 (事業内容)		南河内8市町村、大阪府、公益財団法人大阪観光局、近畿日本鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社が協力し、PR事業・ウォーク事業・ウェブサイト運営など、観光宣伝及び観光客誘致事業を実施する。						

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 南河内観光キャンペーン協議会負担金0千円 (主な事業が新型コロナウイルス感染症対策により中止となったため、返金があった。) 【特定財源】	
当初予算額	事業費	300	300	300		
	事業費	300	0	—		
決算額	特定財源等	0	0	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	イベント実施回数	単位	回	
指標の説明	「観光PRキャラバン」及び「みなみかわち歴史ウォーク」			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	3	3	1	
実績	2	0	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	イベント参加者数	単位	人	
指標の説明	イベント等への参加者数(来客)数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	2,200	6,000	1,500	
実績	5,932	0	—	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 自然と歴史豊かな南河内地域は、ウォークラリーなどのコースに適しており、来訪者も増加している。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度はすべての事業が未実施)		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) ウォーク事業はスマートフォンを使用したデジタルスタンプラリー形式で実施予定(10～12月)。また、南河内8市町村で連携を強化し、コロナ禍でも実施できる新たな取り組みを検討するよう努める。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		532-01-03			
事務事業名		観光案内所管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線2742			
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流		項	1	商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり		目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市来訪者						
	目的 (どうしたいか)		観光・周遊しやすくしていく。						
	手段 (事業内容)		羽曳野市の公共交通機関の玄関口である近鉄南大阪線古市駅の東広場に、平成24年6月観光案内所を開設。観光に関する各種パンフレットの配布や多言語対応のデジタルサイネージなどにより、市の観光施設や特産品などの情報提供を行う。また、各種情報を提供することにより市のさまざまな魅力をPRし、周遊ルート案内などを行う。						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 運営要員派遣委託料 3,092千円 【特定財源】 なし
当初予算額	事業費	3,800	3,700	4,008	
決算額	事業費	3,288	3,092	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開所日数	単位	日
指標の説明	1年間に観光案内所を開所した日数(休所日:毎週木曜日及び12月29日～1月3日)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	307	307	307
実績	309	308	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	来所者数	単位	人
指標の説明	1年間に観光案内所を来所した人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	7,000	6,500	2,500
実績	6,018	2,397	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
本市は日本遺産と世界遺産のあるまち羽曳野とし、令和2年度は百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されてから1周年を迎えたが、コロナ禍における外出自粛の影響により、本市への来訪者や来所者数は大きく減少したため、アフターコロナに羽曳野市への来訪者が増加することを期待したい。観光の発信拠点として、羽曳野市を訪れた人が市の魅力を感じ、また来たい、人に紹介したいと思われるような情報を提供できるよう、また、インバウンドへの対応も含め、体制を強化していく必要があると思われるため、市の職員を配置するのではなく、DMOやボランティアガイド等の組織で運営していくことが、来訪者のニーズに合った対応ができると考える。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
仮称観光局やDMO、ボランティアガイド等の組織へ外部委託もしくは自主運営できるよう検討していく必要がある。

【事業費】
運営要員派遣委託料 3,092千円

【特定財源】
なし

※事業の参考数値等※

令和2年度実績値について、R2.4.10～5.24 コロナウイルス感染防止対策のため閉鎖していたが、人員は配置し、来所者がいた場合は対応。

令和3年度目標(見込)値について、R3.4月～8月の実績来所者数+昨年度R2.9月～R3.3月の実績来所者数を概算して算出。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		532-01-05			
事務事業名		観光農園等管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線2730			
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流		項	1	商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり		目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		来訪者						
	目的 (どうしたいか)		羽曳野市において栽培可能と思われる果樹を植え付け、産業振興に寄与する種類や品種を選定し、観光資源の発掘や地域の活性化等につながる事業を展開する。						
	手段 (事業内容)		かんきつ類、モモ、ナシ、カキなど多種異品種を栽培管理。樹木の成長に伴い収穫できた果実の一部について、市立の幼稚園の園児に収穫体験を実施。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 果樹栽培指導料 30千円 消耗品費 33千円 管理運営業務委託費 12,348千円 原材料費 45千円 等	
当初予算額	事業費	13,223	13,088	642		
決算額	事業費	12,813	12,535	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	栽培本数	単位	本
指標の説明	果樹栽培規模		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	109	119	119
実績	119	119	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	事業推進率	単位	%
指標の説明	栽培果樹の生育見込み達成度		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	100	100	0
実績	100	100	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	C
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	縮小・統合
(担当部局による総合評価の理由や課題) 令和3年度は管理運営業務委託料皆減、除草のための委託料の予算措置のみとなっている。今後の在り方、管理運営方法の検討が必要と考える。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 管理運営業務委託料皆減、除草のための管理運営委託料の予算措置のみとなっている。その他必要業務は職員にて実施。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		532-01-06				
事務事業名		育苗施設管理事務事業		事務の種類			自治事務(任意のもの)			
				連絡先			内線2730			
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費	
	施策		3		観光振興・都市間交流		項	1	商工費	
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり		目	3	観光費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市民							
	目的 (どうしたいか)		事業着手されていない公共用地の活用推進事業において、暫定的にビニールハウスを設置し花苗等の栽培を行ない緑化推進を図る。また、駒ヶ谷駅西側公園や観光農園と合わせて一体的な観光振興にかかる施設として活用する。							
	手段 (事業内容)		駒ヶ谷駅西側公園や道の駅等を修景する花苗の生産・育成。ビニールハウス内にて数種類のブドウを育成し、観光農園事業として取り組む。							

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 消耗品費 18千円 電気料金 66千円 原材料費 24千円 等 【特定財源】
当初予算額	事業費	1,660	746	669	
決算額	事業費	495	124	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	配布実施回数	単位	回
指標の説明	公共施設やイベントで配布した回数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	4	0	0
実績	4	1	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	生産量	単位	ポット
指標の説明	花苗等の栽培ポット数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	18,900	6,000	0
実績	24,500	6,700	－

事業の参考数値等	
配布実績…公共施設1回	イベント配付0回
生産実績	
…マリーゴールド	3,700ポット
パンジー	3,000ポット

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	C
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	見直す必要がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合が可能である。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	C
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	縮小・統合
(担当部局による総合評価の理由や課題) 花苗を育成していた大ハウスにてブドウ栽培を開始、栽培面積が減少したため、生産できるポット数も減少。観光課所管の観光案内所及び道の駅しらの郷羽曳野への花苗の生産のみの栽培となった。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 育苗施設での花苗育成をおこなっていた駒ヶ谷地区観光促進施設等管理運営業務委託料皆減のため、花苗育成は困難な状況にある。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		532-01-07			
事務事業名		駒ヶ谷駅西側公園管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線2730			
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	8	土木費
	施策		3		観光振興・都市間交流		項	4	都市計画費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり		目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		来園者						
	目的 (どうしたいか)		駒ヶ谷地区の活性化に寄与する拠点としての施設・機能の充実とともに、地域情報の発信基地としての役割構築および、地域のにぎわいを創出する公園づくりを目指す。						
	手段 (事業内容)		子ども遊具(つぶたん遊具等)や顔出しパネル、シェルター(日除け)、ベンチ等の公園施設および駐車場の維持管理。はびきののタペなどイベント会場として活用。						

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 消耗品費 31千円 電気料金 384千円 駐車場機器保守および管理運営業務 1,518千円 修繕費 209千円 その他 水道料金、機械警備等 【特定財源】 駐車場使用料 1,446千円	
当初予算額	事業費	3,184	3,067	3,827		
決算額	事業費	2,348	2,329	—		
	特定財源等	1,182	1,446	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開園日	単位	%
指標の説明	適切な管理運営達成度		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	事業進捗率	単位	日
指標の説明	利用者が利用できる日数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	366	365	365
実績	366	365	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) コロナ禍の影響もありイベントの実施はないが、地域住民の憩いの場になっている。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 令和3年度は、当該施設の管理運営業務を含んでいた駒ヶ谷地区観光促進施設等管理運営業務委託料皆減、除草のための委託料の予算措置のみとなっている。その他必要な業務は職員にて実施。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		532-02-01	
事務事業名		観光協会運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2742	
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策	3	観光振興・都市間交流		項	1	商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	全ての羽曳野市民及び観光客					
	目的 (どうしたいか)	羽曳野市の観光事業の振興をはかると共に羽曳野市の地域経済の振興及び文化の発展に寄与する。					
	手段 (事業内容)	観光協会ホームページの運用農特産物及び友好都市特産物販売・振興事業はびきの「軽トラ市」事業への参加					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 補助金等なし 【特定財源】 なし
当初予算額	事業費	0	0	0	
決算額	事業費	0	0	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	ホームページアクセス数	単位	件
指標の説明	観光協会ホームページの運用		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	62,000	65,000	60,000
実績	59,849	46,377	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	会員数	単位	人
指標の説明	観光協会登録会員数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	110	120	120
実績	117	118	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
地域特産物や地域文化を活用し、わが町「羽曳野」の魅力を多くの方に発信し、市民の方には本市の良いところを再確認・再発見していただけるよう、また、市外の方には「訪れたくなる」「また来たいくなる」羽曳野市となるようホームページの内容充実やSNS等を活用し、行政及び各種団体と連携して魅力発信に取り組んでいく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
仮称観光局の設立の際には、観光協会との関わりについての検討が必要である。 また、地域特産物をPRするために、商工会が取り組む「羽曳野ブランド」の認知度向上に係る取り組みや、現在販売しているいちじくジャムだけでなく、他の加工品の開発等に取り組む予定である。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		532-02-02	
事務事業名		ガーデン倶楽部運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2730	
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策	3	観光振興・都市間交流		項	1	商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり		目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	駒ヶ谷駅西側公園及び関連施設が、地域のふれあい交流拠点として、より魅力を持ち地域の親しまれる空間となるよう、住民ボランティアにより植物の育成、管理や環境美化に取り組み、住民の観光意識を高めるとともに人的交流を推進する。					
	手段 (事業内容)	公募により参加者を募り、有償にて活動。駒ヶ谷駅西側公園・観光農園・育苗施設・駒ヶ谷駅駐車場・古市花ふれあい交流広場及び道の駅しらとりの郷羽曳野において、播種作業(種まき)や育成、花壇植付け、除草及び灌水作業等の景観づくりを行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 行政協力者謝礼 261千円 消耗品費 6千円 原材料費 85千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	761	640	0	
決算額	事業費	573	352	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	会員数	単位	人
指標の説明	ガーデン倶楽部に関心を持って応募した市民		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	69	72	0
実績	68	74	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	活動日数	単位	日／人
指標の説明	実施できた日数および平均参加人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	21日／43人	13日／37人	0
実績	19日／41人	11日／24人	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	縮小・統合
(担当部局による総合評価の理由や課題) コロナ禍の影響もあり活動回数は減少。活動場所及び活動のための花苗栽培を担っていた観光農園、育苗施設等の管理運営委託料が皆減となり、花苗の育成管理が困難になる中、活動内容が限定され継続が困難である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 令和3年度からガーデニングクラブ参加者への謝礼は廃止とした。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		532-02-03		
事務事業名		観光ボランティアガイド育成事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線2742		
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち	款	7	商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1	商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市民等(市外居住者を含む)					
	目的 (どうしたいか)		羽曳野市の歴史と文化に関心を持ち、観光客などへの観光ガイドを主とするボランティア活動への意欲を有し、観光ボランティアガイド活動に積極的に参加する市民等(市外居住者を含む)の養成をする。					
	手段 (事業内容)		ガイドになるための座学や現地学習の体験を通して、羽曳野市の歴史や文化に理解と愛着を深めてもらい、羽曳野市の魅力をたくさんの方に伝えていただく。(ガイド養成講座等の開催)					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 観光ボランティアガイド育成業務実施委託料299,505円 【特定財源】 なし	
当初予算額	事業費	300	300	300		
決算額	事業費	297	300	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	養成講座等	単位	回
指標の説明	養成講座等実施回数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	6	5	6
実績	3	4	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	観光ボランティアガイド養成人数	単位	人
指標の説明	観光ボランティアガイド登録人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	30	25	25
実績	23	21	－

令和2年度活動報告書から、ボランティアガイド養成のための見学会 4回

《事業の参考数値等》
令和3年度実施計画書から、ボランティアガイド養成研修会
①講座 5月、10月、1月
②見学会 5月、10月、1月
計6回

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) 観光ボランティアのガイド活動が地域の活性化や交流に果たす役割の重要性は依然高く、また百舌鳥・古市古墳群が世界遺産として登録後2年が経ち、アフターコロナを見据えて改めて来訪者に本市の魅力をより知っていただくために、観光ボランティアガイドスタッフの養成が必要である。市の魅力の発信に関わってもらえる観光ボランティアの掘り起こし、ガイドを養成するための基礎データの収集と組織づくりに取り組んでいく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 令和2年度は、経験の浅いガイドメンバーが他のガイドメンバーに対してガイドワークをする見学会は実施できたが、新規ガイドを募集するための養成講座が実施できなかった。令和3年度以降は、コロナウイルス感染症対策を施し、養成講座の実施に努めたい。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		542-02-01	
事務事業名		ご当地キャラクター活用事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2760	
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策	4	シティプロモーション		項	1	商工費
	施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信		目	3	観光費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民等					
	目的 (どうしたいか)	地元への愛着と、市政への関心を持ってもらい、また、市外からの誘客を促す。					
	手段 (事業内容)	羽曳野ご当地キャラクターつぶたんの市行事及び各種イベント等への参加、市の印刷物へのキャラクターデザイン画像の使用、グッズ販売、SNS投稿など、人々の目に触れる機会を増やし、親近感を持ってもらう。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和2年度決算)》	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 消耗品 1千円 着ぐるみクリーニング 77千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	104	115	30		
決算額	事業費	61	78	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	つぶたん稼働率	単位	回
指標の説明	着ぐるみ等の表出回数(市行事、イベント等への参加や、SNS発信など)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	42	50	20
実績	45	15	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	つぶたんグッズ売上額	単位	円
指標の説明	つぶたんグッズの年間売上額		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	50	50	150
実績	33	117	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当当局による総合評価の理由や課題) 平成23年に誕生した、羽曳野市ご当地キャラクター「つぶたん」は、今では幅広い年代に認知され、地域に根付いたキャラクターとなっている。 コロナ禍により行事・イベント等は中止となったため、キャラクターが直接人と触れ合う機会は減っているため、SNS等による情報発信やグッズ展開など、積極的に取り組む。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) キャラクターの活用方法を更に検討し、より大きな効果が得られるよう努める。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		631-05-01		
事務事業名		竹内街道活性化事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線2730		
担当部署名		観光課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち	款	2	総務費
	施策		3		歴史・文化	項	1	総務管理費
	施策の方向		1		歴史資産を活かしたまちづくり	目	5	企画費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		竹内街道及びその周辺の資産等					
	目的 (どうしたいか)		魅力を再生・創造し、広く発信することにより、地域に対する愛着や誇りを醸成し、地域全体の活性化を促進する。					
	手段 (事業内容)		本市単独での取組みの他、大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村からなる12の沿道自治体などで組織を形成し、府県の枠組みを越えて連携しながら、街道の活性化に向けた取組みを行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 負担金 200千円 消耗品費 0円 【特定財源】
当初予算額	事業費	296	266	200	
決算額	事業費	243	200	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	会議の開催回数	単位	回
指標の説明	実行委員会及び幹事会等の開催回数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	7	6	5
実績	6	5	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	実行委員会全体としての事業数	単位	事業
指標の説明	実行委員会にて計画されている関係自治体が連携して行っている事業数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	6	6	5
実績	6	3	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
はびきののタペなど本市独自の活動をはじめ、広域の活動においても、新型コロナウイルスの状況を踏まえた新たな取り組みや仕組みづくりを行う必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
コロナ後の新しい生活様式を踏まえたイベントの在り方検討や来訪者を出迎える環境整備を行うとともに、「日本遺産」の活用やメディア・SNSへの露出などを通して街道の知名度をアップさせ、ブランド化の向上を図り、シビックプライドの醸成に繋げる。